

## 注 意 事 項

- 運転者の身を守るヘルメットを必ず着用しましょう。手袋・眼鏡など着用するよう心がけてください。
- 運転を阻害するような服装はやめましょう。ブレーキレバーやクラッチレバーに引掛かっったり、回転部分に巻き込まれたりして危険です。
- ブレーキ操作やチェンジ操作に支障をきたすようなものはやめましょう。
- 乗車するときは、運転者は両手でハンドルを握り、両足をステップに置いてください。うしろへ人がのるときは、両手でしっかり握らせ、両足は必ずリヤーステップにのせてください。
- 急激なハンドル操作や、片手運転は避けてください。これは、すべての二輪車の安全運転の原則です。
- 荷物を積んだときは、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。積載するときは、“積み過ぎない”、“荷物を固定する”など十分注意し、安全に走行してください。
- エンジン回転中や停止直後は、エンジン本体やマフラーの一部が熱くなっています。直接触れないでください。
- 車は水平な場所に駐車しましょう。坂道、砂利道、でこぼこな所では、メインスタンブドやサイドスタンブドが不安定になり転倒するおそれがあります。
- 車は常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行なしましょう。たとえば、フロントクッションに泥やほこりがついたらそのまま走行すると、オイルシールやパイプを傷つけてオイル洩れの原因になることがあるからです。
- 洗車時、マフラーに水を入れしないでください。マフラー内部に水がたまると始動不良などの原因になります。
- 車にワックスをかけるとき、塗装部をコンパウンドワックスなどで強く磨くと塗膜が薄くなったり色むらが生じる場合があります。すのでご注意ください。